

年度末報告書（資金分配団体）

- 提出日 : 2023年4月28日
- 事業名 : 地域の中小企業の社会事業化を支援する若手支援者の育成事業
- 資金分配団体 : 一般社団法人全国コミュニティ財団協会

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
実行団体が所在する地方都市において、資金仲介事業を通じて優先して解決すべき地域課題の現状を把握できている。	①地域課題の特定	①解決すべき地域課題を特定し、団体内での合意が得られている	①2023年3月末	4つの団体全てで解決すべき地域課題を特定し、団体内での合意を経て、財団や基金設立に向けた取り組みに着手できている。	2
実行団体内が資金支援組織または資金仲介事業を担うプログラムオフィサーを配置している。	①資金支援組織または資金仲介事業の専従の若手リーダー・スタッフ（プログラムオフィサー・ディレクター職）の確保	①1名以上／団体	①2024年3月末	全ての実行団体で助成事業が始まるのが今年の冬以降となるが、半数の団体ではプログラムオフィサー職に従事する人材を現時点で確保できている。	1

<p>実行団体が所在する地方都市において、民間による資金支援組織または資金仲介事業が生まれている。</p>	<p>①コミュニティ財団の設立 ②地域課題に沿った助成プログラム数</p>	<p>①-1.新規設立：2件 ①-2.設立時寄付者：300名以上／実行団体 ②地域課題に沿った助成プログラムの実施数：2件以上／団体</p>	<p>①2023年6月末 ②2024年3月末</p>	<p>①-1.新規設立：1件 ①-2.設立時寄付者：（リズカーレ）401名 ②地域課題に沿った助成プログラムの実施数： （リズカーレ）4件 （あくるめ）1件 （まちづくりスポット）-件 （NPO 高知市民会議）2件 2022年4月にえひめ西条つながり基金が設立され、同年12月に公益財団法人となった。まちづくりスポットは2023年6月に一般財団法人を登記予定。あくるめとNPO 高知市民会議は新規事業として基金を設立した。</p>	<p>2</p>
<p>実行団体が中小企業やNPO等の地域課題解決の事業を支援する伴走（非資金的）支援プログラムがつけられている。</p>	<p>①非資金的支援プログラム数（助成プログラムとセットでも可）</p>	<p>①非資金的支援プログラム数：1件以上／実行団体</p>	<p>①2024年3月末</p>	<p>①非資金的支援プログラム数：— 財団を設立するプロセスであり、現時点ではどの実行団体も着手できていない。</p>	<p>2</p>

<p>実行団体が、事業対象地域の課題について市民やステークホルダー等と共有できている。</p>	<p>①交流・対話する場の回数</p> <p>②顧客データベースが作られている</p> <p>③新たにつながったステークホルダー数（個人・団体）</p>	<p>①場の回数:10回／実行団体</p> <p>②顧客データベースが作られている</p> <p>③-1.新規設立:新たにつながったステークホルダー数（個人・団体）:1,000</p> <p>③-2.新規事業:新たにつながったステークホルダー数（個人・団体）:500</p>	<p>2024年3月末</p>	<p>①場の回数:延べ5回（リズカーレ）20回（あくるめ）1回（まちづくりスポット）19回（NPO 高知市民会議）1回</p> <p>②顧客データベースが作られていない</p> <p>③-1.新規設立:新たにつながったステークホルダー数（個人・団体）:—</p> <p>③-2.新規事業:新たにつながったステークホルダー数（個人・団体）:—</p> <p>課題の共有や設立のプロセスにおいて、各実行団体はそれぞれ交流・対話する場を開催している。まちづくりスポットでは、継続的に飛騨高山エリアの地域課題に取り組むプレイヤーをゲストに交えたスキマ研究会を開催している。</p>	<p>2</p>
---	--	---	-----------------	--	----------

【非資金的支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
<p>資金分配団体が、実行団体に資金支援組織(事業)の経営に必要な知識・ノウハウを提供している。</p>	<p>①PO/アドバイザーとの面談回数 ②実行団体の合同研修会の開催回数 ③PO研修の受講者数</p>	<p>①面談回数：年12回/実行団体（計33回） ②研修回数：12回（年4回） ③受講者数：2名/実行団体（うち1名は若手人材）</p>	<p>2024年3月末</p>	<p>①面談回数：計51回 ②研修回数：8回（うち任意2回） ③受講者数：9名（2名以上の参加は3団体） 概ね全ての実行団体で月次面談を実施するとともに、進捗に応じて面談・助言する機会を増やして対応している。（合計51回：最大18回、最小8回）</p>	<p>2</p>
<p>資金分配団体が、実行団体に中小企業の社会事業化の具体例を提示している。</p>	<p>①事例取材件数</p>	<p>①取材件数：10本</p>	<p>2024年3月末</p>	<p>①取材件数：4本 一旦、実行団体の助成プログラム企画立案力の向上のための支援に努めていたため、取材を止めていたが、2023年度より再開する。</p>	

*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
<p>3.課題がある</p> <p>実行団体による資金仲介額は、寄付募集が進んでいないこともあり、達成困難な可能性が高い。</p>
2.アウトカムの状況
A：変更項目 <input type="checkbox"/> 変更なし <input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input checked="" type="checkbox"/> アウトカムの目標値
6.(任意)非資金的支援の活動に関する報告
<p>伴走にあたっては、担当プログラムオフィサー2名と各実行団体につき1名のアドバイザーを配置している。アドバイザーは全国コミュニティ財団協会の会員財団の役職員であり、財団運営の専門的知見を有するものである。毎月1回程度の頻度でオンラインでの面談を行い、団体の状況に応じて臨時で現地に赴いたり、面談回数を増やしたり、アドバイザーとは別のコミュニティ財団運営者を派遣するなど対応している。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 合同研修会 年度前半にプログラムオフィサー研修への参加機会を提供したため、合同研修会は中間評価レビュー回の1回のみとした。また、任意参加の研修として、年次大会と沖縄式地域円卓会議を開催した。 2022/10/18-19：第7回合同研修会「中間評価レビュー会」 2023/1/11：全国コミュニティ財団協会年次大会 2023/1/20-22：特別研修「沖縄式地域円卓会議」・ ロジックモデル・評価計画の作成支援 リズカーレ、あくるめは中間評価報告を踏まえて、オンラインにてロジックモデルと評価計画の見直しを支援した。事後評価を見据えて、最終年度に取り組む活動の見直しも同時に行った。

・ Slack によるコミュニケーション

実行団体とのコミュニケーションに Slack を活用している。Slack では事業実施上の質問を伴走担当者以外にも投げかけられるようにして、コミュニティ財団が培ってきた知見を共有できるようにしている。また、実行団体間同士でも情報交換ができるチャンネルも用意して、お互いの活動報告なども日常的に行っている。

・ その他

2022/3-6：PO の工具箱：自主事業として開催した計 5 回（オプション別途 3 回）のプログラムオフィサー（助成事業実務者）研修への参加機会の提供（必須参加とした）

2022/9：遺贈寄付ウィーク：自主事業として開催した遺贈寄付のオンラインシンポジウムの現地開催機会の提供

2022/11-2023/1：コンプライアンス研修：自主事業として弊協会の会員財団向けに実施した研修への参加機会の提供

② 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況

- 自団体のウェブサイトに表示している 広報制作物に表示している
 報告書に表示している イベント実施時に表示している その他
→「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：

2. 広報

1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）

2.広報制作物等

3.報告書等

- ・第9回年次大会「地域の未来をつくるコミュニティ財団の可能性」録画映像

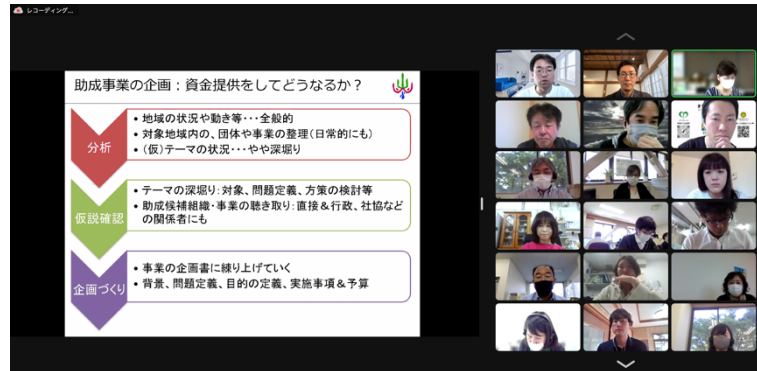
<https://youtube.com/playlist?list=PLsylvrDxMQrIWPJxokbFtERd5G8xIKjc31>

4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

- ・2023/1/11：第9回年次大会「地域の未来をつくるコミュニティ財団の可能性」

添付資料

活動の写真（画像データは1枚2MG以下、3~4枚程度）



PO（プログラムオフィサー）研修



第7回実行団体合同研修会「中間評価レビュー会」



四国実行団体合同会議・情報共有会の開催



年次大会での事業報告

④規程類の整備に関する報告

1. 規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。

全て公開した 一部未公開 未公開

→ 「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：

2. 変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。

はい いいえ

→ 「いいえ」を選択した場合の理由：理事会の決議は済んでいるが、ウェブ掲載用に作業中のため。

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
2. 内部通報制度は整備されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「はい」の場合の設置方法（複数選択可）： <input type="checkbox"/> 内部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> 外部に窓口を設置 <input checked="" type="checkbox"/> JANPIA の窓口を利用
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
5. コンプライアンス委員会は定期的を開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
6. 報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
<input checked="" type="checkbox"/> 内部監査を実施 <input type="checkbox"/> 外部監査を実施 <input type="checkbox"/> 実施する予定がない → 「実施する予定がない」を選択した場合の理由：